

理 事 通 信

発行:ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 東京都新宿区四谷本塩町 2-11 URL: <https://ys-east.or.jp/>

2025 年 12 月 1 日発行

12 月 強調月間：IBC・キリスト教理解

IBC と新たな交流の形

国際・交流事業主任 山本 剛史郎

ワイズメンズクラブの魅力は、何よりも「奉仕」と「交流」という二つの柱にあります。地域に根ざした奉仕活動を続けながら、互いを理解し合い、励まし合う交流の精神こそが、この国際的団体を支える原動力です。その中でも、ワイズメンズクラブならではの特色と言えるのが、多様な交流プログラムの存在です。

国内のクラブ同士が連携し友情を深める DBC (Domestic Brother Club) に加えて、国を越えて結ばれる IBC (International Brother Club: 国際兄弟クラブ) は、大きな魅力と広がりを持つ制度です。IBC では、各国のクラブが兄弟クラブとして正式に提携し、継続的な交流を育みます。訪問や共同奉仕活動、文化紹介、青少年プログラムの協力など、その内容は多岐にわたり、単なる交流を超えて「国境を越えた友情」を築く場となっています。

国際社会が複雑化する中、異なる文化や価値観を持つ仲間と直接つながることは、相互理解を深めるだけでなく、自分のクラブの活動にも新たな視点や刺激をもたらします。交流を通じて得られる気づきや学びは、地域での奉仕活動にも豊かな広がりを生みます。

ワイズメンズクラブが「国際的団体」である意義は、この IBC に最もよく現れています。国境を越えた友情は、クラブの枠を超えて世界の平和と相互理解に貢献する力を持っています。IBC は、ワイズメンズクラブの理想を体現する取り組みであり、メンバーにとってかけがえのない経験となるでしょう。

私の属する川越クラブでは早くからアメリカ・セラムクラブと IBC を結んでいました。長い間、ブリテンのやり取りなどを行っていましたが、残念ながらセラムクラブが高齢化のため解散してしまい、繋がりが途絶えてしまいました。その後、フィリピン・パンガシナンクラブと IBC を結び、また今年 6 月にはインド・ハイデラバードクラブと IBC を結ぶことになりました。ここ数年、世界中で新型コロナウイルスという感染症が広がったことをきっかけに zoom などインターネットを使って繋がるという新たな交流の場が広がり、川越クラブでも活用しています。この機に国際的組織であるワイズメンズクラブの強みを再確認し、IBC と交流の形をもう一度考えてみたいと思います。

【キリスト教理解とは】

東日本区理事 山下 真

第 7 代東日本区理事 樫村好夫ワイズ(富士クラブ)の理事方針「共に分かち合え

豊かな奉仕を」に初めて触れたのは富士クラブブリテンがクラブの歴史を振りかえるために再掲してくれたからです。この連載を毎月とても楽しみにしております。



とても平易な言い回しの中にも深い知識と珠玉の言葉があふれていて、今でも時々読み直したりしています。その中にクリスチャニティに関して以下の記述があります。

ワイズスピリットとクリスチャニティーについて、鈴木功男元日本区理事は『ワイズダムには、クリスチャンとノンクリスチャンと言う、2 つの人種があるような受け取り方がされていますが、ワイズダムにはワイズメンという人種ひとつしかありません』

ワイズメンズクラブ創始者のポール・アレキサンダーは、『ワイズメンズクラブには、たった一つの種類のメンバーしかない。即ち活動するメンバーがあるだけである』と言っています。人は困難に陥り共に力をあわせた時には宗教の垣根を越えて手を携えて愛に生きることができていることを東日本大震災の被災地支援で私たちは学びました。

そこに必要なものは隣人に対する愛と奉仕の精神があるだけです。

今、地元で活動するクリスチャングループ 東北ヘルプでは周囲の無理解に苦しむムスリム(イスラム教徒)のみなさんとの絆をつなごうとしています。

誰もが持っている隣人愛。

そう考えるとたとえ信じるものは違っていてもキリスト教理解は決して難しいことではないのだと思います。

来年は西日本区次期理事の岡村遍導ワイズと共に力をあわせて日本のワイズダムのために精一杯がんばります。とても楽しみです。

岡村ワイズがお坊さんであることは全く気になっていません。むしろ高潔な志の懷に触れて樫村ワイズの言葉を思い返すのです。

「(クリスチャンでなくとも)クラブライフを通して、キリスト教の文化としてキリストの愛を、キリストの精神を理解し、活動的で立派な素晴らしい誰にも負けないワイズマンになられたメンバーが多数おられる事は私は知っています。」

自分も共にそうありたいと願います。

甲府クラブのホームページにはワイズ文庫という宝物殿のような素敵な書庫があります。そこで樫村先輩だけでなく多くの先達の思いにいつでも触れることが出来ます。

<http://ysmen.main.jp/ysmen-library/>

第 2 回東日本区役員会速報

東日本区書記 榎本 博

11 月 8 日に開催した第 2 回東日本区役員会についてご報告致します。

○第 1 号議案「2025-2026 年度東日本区大会実行の件」

開催月日：2026 年 6 月 6 日（土）

開催場所：石巻市河北総合センター ビックバン

石巻グランドホテル

（前夜祭）げんき市場

・予算案と以下の登録料が承認されました。

ワイズ・ワイズメネット	20,000 円
ユース（30 歳未満）	10,000 円
コメット（中学生以下）	5,000 円

○第 2 号議案「2026-2027 年度第 30 回東日本区大会ホスト並びに開催地承認の件」

開催地：札幌市

ホスト：北海道部 以上を承認

○第 3 号議案「第 28 回東日本区大会決算承認の件」

決算案と「収支残金を第 29 回石巻大会へ引き継ぎたい」との動議もあわせて承認。

○第 4 号議案「ユースサポートファンド創設の件」

ユース事業の財源確保を目指すユースサポートファンドが山田公平直前理事から提案があった。

献金目標：一口 5,000 円、募金期間は 11 月?翌年 3 月末の 5 カ月で 200 万円を目標とする提案を承認。

○報告事項

1. 不登校児対応プロジェクトについて
2. ふくしま YMCA 設立準備会の取り組みについて
3. インド体験交流プログラムについて
4. CS・Y サ・ASF 資金の支出承認について

深澤勇弘 CS・Y サ事業主査から各クラブへのぼり配布と経過と実績の報告とあわせて、CS・Y サ・ASF 資金をもってその経費をまかなう趣旨について妥当との意見表明があった。

山下理事から同氏の要請に基づき 11 月 3 日の第 5 回常任役員会で CS・Y サ・ASF 資金から支出が決定された報告があった。支出金額 126,080 円。

5. ユースボランティアリーダーズフォーラム報告
6. 東日本区 WEB サイトの総合メンテナンスの発注について
7. LT 委員会から
8. AYC 報告会について
9. 日本 YMCA 同盟から
10. アジア太平洋地域大会熊本大会
11. 国際協会からのお知らせ

【各部長報告】

欠席となった北海道部・北東部・関東東部を除く各部より直近の動きについて報告をいただいた。

第 75 回 国際（ドバイ）大会登録開始

11 月 15 日から来年 2026 年 9 月 10 日から 13 日までドバイ（UAE）で開催される国際大会の登録が開始されました。

早期割引(USD 475)の期日は 2026 年 1 月 31 日です。

しかし、特別料金のホテルの部屋数は限られていて埋まれば高額な部屋だけが残ります。参加をお考えのワイズメンは早めに登録し、少しでも有利な支払いを確保しましょう。

ドバイの近未来的な素晴らしい建築、活気ある文化。国際的な交流の中心地である都市 ドバイでの開催される大会は忘れられない思い出をあなたの心に刻みつけることとなると思います。

是非、国際大会の WEB サイトをご覧ください。





75th International Convention

Millennium Plaza Downtown Hotel
Dubai, United Arab Emirates

Y's Men International 2026 International Convention

10-13 September 2026

Festival of Dreams

*To dream impossible dreams
in the world's most futuristic city*

- 4-day, 3-night event programme
- All meals included throughout the Convention
- Venue hotel twin-share rooms (incl. breakfast) from **US\$97/night**
- Flexible excursions – choose from several local experiences

Super Early Bird	Early Bird	Regular
Book between 15/11/25 - 31/01/2026	Book between 01/02/26 - 30/04/2026	Book between 01/05/26 - 31/07/2026
US\$475	US\$500	US\$600



Super Early Bird Registration opens 15 November 2025

Visit the website for more information
or to register

www.ysmen.org/ic2026

< [詳細はこちらから](#) > ← クリック

カレンダープロジェクトのお知らせ

東日本区理事 山下 真

私のメールの署名に次の添え文があります。

カレンダープロジェクトにご理解ご協力を

<https://ys-east.or.jp/CALENDAR#gsc.tab=0>

知らない人は「なんのこっちゃ」だったと思います。
今回はそのお話をさせてください。

東日本区法人推進委員会ではかねてよりファンドレイジングの推進が提言されていたことは東日本区のみなさんは存知でしょう。

クラブでやりたい活動があれば当然お金もかかります。
自らの工夫や努力で益金を生み出し、それを地域社会への奉仕やワイズの醍醐味である交流に活かしていこうという提言でした。

私は区財政の基本方針を当期差引損益がマイナスになるような予算は組まないと指示していました。
驚きました。多少の区費の値上げぐらいでは予算が組めないんです。
お金のお話をすれば一晩中話せるネタがあります。

お金のない私も東日本区理事キャビネットは法人推進委員会の提言に基づきクラブの先頭に立って率先垂範でファンドレイジングに取り組みもという単純な動機からカレンダープロジェクトは動き始めました。

各種研修会や各部の評議会でご理解をいただけるように動き出しました。
しかし、そこには多くの障害がありました。現在の東日本区の限界とも言えるかもしれません。
これは今後の次のステップに活かせるであろう貴重な経験でした。
なるべくシンプルに実行できるよう東日本区から切り離して有志にその運営をお任せすることになりました。

ある程度の冊数を販売しないと益金が生み出せないのを最低部数を 1000 部と設定しています。
今回東日本区各クラブ会長さんには取りまとめに対するご協力をお願いを本日発信しました。

また、西日本区の皆さまにもご理解をいただけるならご注文いただければと注文フォームでも希望部数のとりまとめを開始しています。



<https://forms.gle/7B3FfHTzzDdqwTq39>

どんなカレンダーなのかは東日本区ウェブサイトに掲載しているのでやっぱりこのリンクをクリックしてください。

<https://ys-east.or.jp/CALENDAR#gsc.tab=0>

東日本区事務所所長並びに職員の公募・推薦の受け付けのお知らせ

東日本区事務所人事委員会委員長 鈴木伊知郎

東日本区事務所人事委員会委員長の鈴木伊知郎（宇都宮東クラブ）です。

来期以降の事務所職員の公募につきましてご案内いたします。

小山ワイズの後を受け、現小林隆事務所長が長きにわたり東日本区の事務を担っていただきましたが、任期満了につき後任の事務所長を募集したいと思います。別紙の公募案内文書をご覧ください。

自薦・他薦を問わず東日本区事務所の運営に必要な人材を募集致しますので宜しくお願い申し上げます。



下記の要領で東日本区事務所所長並びに職員の公募・推薦を受け付けします。

東日本区事務所所長・職員の募集に応募しようとする会員、適材と考える会員を推薦しようとする方は応募先までご連絡ください。

・募集する事務所スタッフ 事務所長 1名

（勤務条件等）

勤務期間：2026年7月1日～2027年6月30日（毎年更新、最長5年間）

職務内容：保存を必要とする文献・記録等の保管。区費・入会金・各種献金の入金管理。経常会計・特別会計の出納管理。国際会費・国際献金・エリア会費等の国際送金。国際半年報の準備、国際選挙に関する手続き、国際表彰に関する申請。区が主催する会議・行事等に理事スタッフ・事業委員長・理事が委嘱するボランティアスタッフと協力して庶務事項を行う。各委員会等の会場の手配・庶務事項。以上に掲げた業務処理をリモートワークも駆使しながら行う。

報 酬：事務所長 年額 120 万円（自宅から東日本区事務所までの交通費補助を含みます）

応募期間：2025年12月12日（金）まで

応 募 先：東日本区事務所人事委員会委員長 鈴木伊知郎

〒320-0022 栃木県宇都宮市千波町1番8号

FAX：028-615-7013

E-mail：cic@g-call.jp

その他：関心のある方はお気軽に応募先までご相談下さい。

以上

インド体験・交流プログラムについて

国際・交流事業主任 山本 剛史郎

ワイズメンズクラブは、世界 70 以上の国と地域に広がる国際的な奉仕団体として、YMCA とともに若者の成長と国際交流を支えてきました。私たちは「よりよい世界をつくるのは、若者の行動力だ」と本気で信じています。今回ご紹介する「インド体験・交流プログラム」は、その想いを形にした特別な国際交流企画です。舞台は南インドのハイデラバード。伝統文化と急成長する IT 産業が躍動するこの街で、現地の若者と共に生活し、学び、語り合う 13 日間が待っています。



本プログラムでは、学校・地域との交流、文化体験、ディスカッション、ホームステイ、奉仕活動など、観光旅行では触れられない“本物のインド”に出会うことができます。生活習慣も価値観も違う環境に身を置き、同世代の仲間と協力しながら過ごす時間は、確かな自信と国際的な視野を育てる貴重な経験となるでしょう。互いの違いを理解し、言葉を超えて心を開くことで得られるつながりは、一生ものの友情へと広がっていきます。

さらに、このプログラムを支えるのは世界中にネットワークをもつワイズメンズクラブと YMCA です。現地クラブの温かいサポートのもと、安全面や生活面も万全。海外が初めての方でも安心して参加できます。ワイズメンズクラブ東日本区として初の試みですが、参加した皆さんが「行ってよかった」と心から思える体験を全力で提供します。

あなたの一歩が世界を広げ、新しい自分に出会うきっかけになります。国際交流に関心のある高校生・大学生・若手社会人のみなさん、この機会にぜひハイデラバードで本物の国際体験をしてみませんか。世界とつながる旅へ、一緒に出かけましょう。

Discover Yourself in India!

世界とつながる。仲間と成長する 13 日間



◆ インド体験・交流プログラム 2026

日程：2026 年 2 月 19 日（木）～3 月 3 日（火）

行き先：インド・ハイデラバード（Hyderabad, India）
南インド最大級の都市で、伝統と IT 産業が共存する国際都市



◇ プログラムの魅力

ただの旅行じゃない。このプログラムは「本物のインド」を体験し、「世界の仲間」と心でつながる旅です。

- ・現地の若者・学校・地域との交流活動
- ・インドの文化・生活体験
- ・ホームステイ・地域奉仕活動
- ・異文化理解を深めるディスカッションセッション

💡 Why Join? (このプログラムが特別な理由)

国際組織ワイズメンズクラブ×YMCA

世界中に広がるネットワークがあなたをサポート。安心・安全な環境のもと、世界規模の友情と出会いが待っています。

Real Exchange, Real Growth

現地の同世代と共に活動し、学び、笑う。その経験が、あなたの世界観を変える。

一生の思い出、一生の仲間

旅の終わりには、あなたにとって“第二の家族”ができています。

📌 参加費

【日本出発コース】

200,000 円（航空券・宿泊・食事・ビザ・保険・現地交通費込み）

【現地集合コース】

76,000 円（宿泊・食事・現地交通費込み）

👥 対象

- ・異文化交流・国際協力に関心のある高校生・大学生・若手社会人
- ・YMCA・ワイズメンズクラブ活動に興味のある方

✈️ Let's Go Beyond Borders!

あなたの「一歩」が、世界を広げる。

Discover, Connect, and Grow in Hyderabad.

📞 お問い合わせ

主催：一般社団法人 ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町 2-11 日本 YMCA 同盟会館内

☎ 03-5367-6652

担当：山本剛史郎

✉ goshiroyamamoto@gmail.com

🌐 <https://www.ys-east.or.jp/>



ワイズメンズクラブ国際協会
東日本区

ワイズの思いを若者に ユースと描く未来への道 ユースサポートファンド

献金受付期間

4月30日まで

一口 **5,000 円**以上
個人単位でもクラブ単位でもOKです

**献金目標額
200万円**

献金のお手続きについて

ご協力いただける場合はまず裏面のお申込書をお送りください

献金送金先

- + 口座名
ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
- + ゆうちょ銀行窓口で
青のゆうちょ銀行振り込み取り扱い票
口座番号 00110-0-362981
- + ゆうちょ銀行以外からの場合
ゆうちょ銀行019支店
当座貯金 0362981

主な使途

皆さまから献金をいただいた貴重な基金は次の目的等のために大切に活用しユースとワイズの相互の発展・成長につなげます

ユースの
主体性を育む

SDGsユースアクション

ユースの創意工夫を活かしたプログラムを東西日本区が責任をもって支えます

ユースを
海外へ

ユースコンボケーション

インド体験・交流ツアー 参加支援
海外で体験する異文化との出会いは一人ひとりのリーダーとしての成長を促しユースの可能性を広げます

ユースとワイズの
関係性を強化

ユース代表の活動基盤を強化

ユース代表二人の活動を強化し学生YMCAも含めたユースリーダーとの連携を進めワイズとユースとの架け橋としての機能を充実させます

ユース事業委員会
国際・交流事業委員会

問い合わせ窓口



山田公平直前理事

kyamada246@gmail.com

ユースサポートファンド 献金申込書

氏名 _____

クラブ名 _____

献金口数 _____ 口 (一口 5,000 円)

送金額 _____ 円

お手数をおかけしますが送金前に上記の申込書お送りいただくか

QRコードから入力フォームに入って必要事項をご入力ください。

申込日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

東日本区事務所 fax 03-5367-6652

E-mail yseast2010@gmail.com

お申込フォーム



PDF版ではQRコードをクリック
すればフォームに入れます

これから予定されているユース関連事業

Y's x SDGs Youth Action

既にユースからのプログラム提案の募集が始まっています。

各クラブにおかれましてはYMCAに集うユースにこだわらずにつながりのあるユースが特徴的な取り組みを考えているのを把握したらユースにアクションプランの提出を促してください。

詳細はYMCAサイトをご覧ください。 [Y's x SDGs Youth Action2026](#)



インド体験・交流プログラム

既に募集が始まっています。

日程は 2月19日から3月3日の長期滞在プログラムでインド・ハイデラバードクラブのタイアップによる事業です。募集人員は10名程度。参加費は20万円。

ぜひ身近なユースにアピールして貴重な海外体験へクラブとして送り出していただければと存じます。また、ワイズメンバーの参加も大歓迎です。

詳細は東日本区WEBサイトをご覧ください。 <https://ys-east.or.jp/news/7150>



IYC (国際ユースコンボケーション)

来年の国際大会はアラブ首長国連邦のドバイで開催され既に登録申し込みが始まっています。

国際大会とセットで開催されるユースコンボケーションはドバイから遠く離れたインドネシアペナンで開催されます。

このすばらしい体験をみなさまの廻りのユースに参加を促し送り出してください。



W4W (Week for waste)

この取り組みは地域奉仕・YMCA サービス事業のカテゴリーの国際統一行動です。

あえてここで取り上げるのは今年のユースボランティアリーダーズフォーラムでは

「環境問題」が取り上げられ、参加したワイズからもワイズの環境問題統一行動であるW4Wをユースと一緒に取り組みたいとの夢が語られたからです。

ぜひ、まわりのユースリーダーとご相談いただきクラブでW4Wにともに取り組むことをご検討ください。

単なるゴミ拾いでは終わらない運動の広がりがあなたのワイズライフを豊かなものにするでしょう。



国際選挙 近づく

国際選挙のシーズンとなりました。

今年の選挙は 2025 年 12 月 12 日午後 5 時(ヨーロッパ中央時間:日本時間で 12 月 13 日午前 1 時)に開始され、1 月 26 日午後 5 時(日本時間で 1 月 27 日午前 1 時)に締め切られる予定です。

投票権を持つクラブ(過去 3 半期(1 年半)を通じてクラブ会員が 15 名以上、または最低要件免除が認められているクラブ)のクラブ会長または承認された投票代理人宛てに投票招待のお知らせ(日本語のメール)が国際本部から届きます。候補者のプロフィール(日本語)へのリンクは、招待状に記載されています。

ご検討いただき、貴重な 1 票を無駄なく行使してください。

- 2026/27 年度次期国際会長候補者は、以下のとおりです。

サンドラ・ハミルトン

(カナダ / カリブ海諸国地域・カリブ海諸国区)

ベズウェル・マンシェー

(アフリカ地域・アフリカ南東区)

V・S・ラーダクリシュナン

(インド地域・中央トラヴァンコール区)

- 2026/27 年度次期国際会計候補者は、以下のとおりです。

ピルソン・ルイス (インド地域・西インド区)

スヴェンド・エリック・ニールセン

(ヨーロッパ地域・デンマーク区)

- 2027/2029 年度アジア太平洋地域選出国際議員

定数 1 議席に 1 名の候補者のみが推薦されたため、アジア太平洋地域選出の国際議員(立法協議会代表)は、無投票で選出となります。

フランク・ツァイ(台湾区)

2026 年・2027 年 次期地域会長(APE)/次期国際議員

2027 年・2028 年 地域会長(AP)/国際議員

2028 年・2029 年 直前地域会長(IPAP)/国際議員

もうすぐ3回目のユースアクションが始まります

・Y's×SDGs Youth Action とは、

日本国内 35 都市、14 万人の会員を有する YMCA と YMCA を支え、全国で約 2,000 名が地域での奉仕活動が続けるワイズメンズクラブ東西日本区と全国の YMCA が出資して行っている第 3 回目の協働事業です。これまで 2022、2024 に実施済。

国連が 2030 を目標に掲げた分野における「持続可能な開発目標」(SDGs)を踏まえ、地域における社会的課題にユース自らが気づき、考え、解決に向けた活動(Action)を応援し伴走します。このような活動をやってみようという若者たちの社会課題解決に向けた活動を推進し、社会のため、人のために動き出す真のチェンジエージェントを生み出すことを目的としています。

まさにこの活動は、ワイズ運動が、若者たちの成長と社会的課題解決に結びつける大切な働きであり、それを各地で見出し、関係を作り、実現してもらうか。そんな働きをを目指しています。

応募方法や詳細はこちら：[Y's SDGs Youth Action 2026 特設サイト](#)

今後の活動計画(実現までの手順)

応募期間は 11 月中旬から 3 か月間、来年の 2 月 10 日までとなります。ユースのグループに働きかけてください。地域の YMCA に、地域の高校生や大学生に、未来社会のために何ができるか、何をしたいか、共に考え、挑戦してみてください。

ワイズメンズクラブへのお願い：この活動は、ワイズ東西日本区と全国 YMCA による共同事業で、2021 年に最初の活動が始まりました。今回が 3 回目になります。各地 YMCA や学生 YMCA、学校でユース(高校生以上 30 歳未満)に話してみてください。

Y's×SDGs Youth Action 2026

主催：一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
公益財団法人日本 YMCA 同盟

●概要

ユース世代のチーム(高校生～35 歳の 3 名以上)が SDGs の観点から各地域の社会課題解決に向けた活動を YMCA とワイズメンズクラブが支援し共に活動(伴走)する事業

●応募期間

2025 年 11 月 15 日～2026 年 2 月 10 日
※終了後、オンライン企画プレゼンテーションを実施。書類及びプレゼンテーションの内容にて選考

●活動期間

2026 年 5 月～12 月(8 ヶ月間)

●企画プレゼンテーション(オンライン)

2026 年 3 月 22 日(日) 13:00～

●選考チーム数

最大 10 チーム

●支援額(助成金)

最大 20 万円/1チーム



【問合せ先】Youth Action 実行委員会

Email: youth-action@japanymca.org

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区・ワイズメンズクラブ国際協会西日本区・公益財団法人日本 YMCA 同盟



日本 YMCA 同盟報告 2025 年 7~11 月

東日本区担当主事 田附 和久（東京武蔵野多摩）

【国際】

今年の夏は大阪で世界大都市 YMCA 会議（WUN）が開催されたこともあり、ウクライナ YMCA のピクター総主事、東エルサレム YMCA（パレスチナ）のピクター総主事をはじめ海外から多くのゲストが来日しました。6 月の同盟協議会に参加後、広島を訪問した世界 YMCA カルロス・サンヴィー総主事は、8 月 6 日に「80 Years Later — A Call We Must Still Hear: Never Again（80 年後の今も—我々が耳を傾けるべき訴え：二度と繰り返してはならない）」と題するメッセージを SNS で世界に向け発信しました（[日本 YMCA 同盟ウェブサイト](#)に日本語訳を掲載）。



10 月には、非人道的な状況が続くガザにおける即時停戦と食料支援を求めて、日本国内の主要国際 NGO と共同で声明を発表し、犠牲者追悼の祈りをこめたキャンドルアクションにも参加しました（10 月 4 日、会場：東京・聖アンデレ教会、増上寺）。

【国内協力】

YMCA インターナショナル・チャリティーランは、今年度も全国 20 会場で順次開催されています。全国大会委員長の富田宇宙さん（パラリンピック競泳メダリスト）は、大阪、横浜、奈良、熊本、広島の各大会に参加し、参加者といっしょに走り、交流してくださいました。

【社会協働】

アマゾンとの連携による、IT 学習機会の提供をさらにスケールアップし、若者向けの「デジタル・キャリア支援プログラム」とシニアの「デジタル・リスクリング・プログラム」を新たに開発、スタートさせることとなり、10 月 5 日に都内のアマゾン本社でローンチイベントが開催されました。

【ユースエンパワーメント】

第2回アジア太平洋クリスチャンユースアッセンブリー（8月19～23日、主催：韓国YMCA全国連盟、会場：韓国・坡州、参加者：80名、日本からは4名）、第51回全国学生YMCA夏期ゼミナール（9月12～14日、テーマ：分断の世界の中で、いま、あなたと出会う、会場：東山荘、参加者：48名）、第56回全国YMCAリーダー研修会（10月11～13日、テーマ：Set Sail～心に帆を掲げて、参加者：90名、会場：YMCA阿南国際海洋センター）が、それぞれ盛大に開催され、多くのユースたちの成長の機会となりました。皆様のご支援ご協力に厚く御礼申し上げます。

【次期総主事】

2026年3月末で退任する田口努総主事（横浜クラブ）の後任として、現在YMCAせとうち総主事の太田直宏さん（岡山クラブ）が就任することが決まりました。

トップページ > 最新情報 > 世界YMCAからのお知らせ > 世界YMCAに平和メッセージ

日本YMCA同盟

2025年08月06日

世界YMCAカルロス総主事 8月6日に平和メッセージ ～ Never Again 「二度と繰り返してはならない」

世界YMCA同盟のカルロス・サンダー総主事、最善の意思に平和のメッセージを伝えます。

カルロスは総主事として世界YMCAスタッフのラズビンは今年8月、日本YMCA同盟総会出席のため来日。その後、東京、大阪、横浜、広島など多岐にわたるYMCAを訪れました。広島YMCAでは、戦争ノーマル平和議を主催した日本総連盟の会場で参加し、原爆犠牲者追悼式に参加するなどして市民意識の高まりに力を入れました。

帰国後8月6日、日本のYMCAへの手紙と共に、以下のメッセージを投稿されたので紹介します。

▼写真から、日本YMCA同盟副総主事、広島県建設 社久副建設事務所長、世界YMCAカルロス・サンダー総主事、世界YMCAラズビン・サス、日本総連盟の委員長 賀賀智之、広島YMCA事務総主事、(2025年8月2日、撮影：広島YMCA委員長)

戦後80年——私たちは耳を傾けなければならない呼びかけ Never Again 「二度と繰り返してはならない」

本日、広島への原子爆弾投下から80年が経りました。世界中の道徳の標榜者たちに包摂されますが、広島ではその標榜者がより重く響きます——平和、道义、そして平和への切望に力呼びかけを続けます。

最近日本を訪問した、私はその惨害を助ける日本生まれ2人の被爆者とお会いする機会に預けられました。ノーマル平和を築いた方々ののは、1945年8月6日の恐怖だけでなく、まき上げられた灰の静けさと、痛みを世に伝える決意を語っていました。彼らの顔は記憶と希望の両方を含み、揺るがない現実で溢れ、私はそれを感謝し、謙虚な気持ちになりました。彼らは静かなる英雄でありませぬ。真実の語り手です。人類の最も偉い徳目「自警しなごらぬ、平和の可能性を信じ続ける選択をした人々です。

そして、私にとって決して忘れ得ることのない写真がありました。戦後の少年が、街角に独り立ちを奮闘していました。その真実者づくりにてならぬ、少年は決意の輝きに定まっていた。涙はありませぬ。感情の奔れもありませぬ。ただ、その静けを超えた重さを背負った。真実の最前線だけが感じられました。その写真は私を涙り付けさせました。これは静かなる写真ではありません。それは内部に燃え尽きたもの、燃え尽きた少年時代、戦争が抱いた痛みにも満ちた復興の象徴です。

この2つの瞬間——被爆者たちとの出会いと、あの写真を見たこと——は、政治や歴史的な壁、あらゆる壁に突き破られました。これは「二度と繰り返してはならない」という誓いが、静かなスロー・ダウンではなく、真実であることと実効性のある、今日、ヒロシマを築く足り。私たちもまた平和を、そして子どもたちと兄弟の世代はつくを築く世界を築かなくては、再び誓いを立てなければなりません。

日本の皆さんへ、これらの物語は語り続けられてください。皆々こそ平和教育に取組んでくださることに感謝します。世界へ、あなた自身の声を必要としています。静かきましょう。辛くしましょう。そして行動しましょう。——なぜなら、平和は約束されたものではなく、私たちが築くものだからです。

世界YMCA カルロス・サンダー

原文はこちらから > [世界YMCAフェイクブック](#)

世界YMCAカルロス・サンダー総主事、最善の意思に平和のメッセージを伝えます。

2025-26 年度部長主任研修会の実施報告

25-26 年度 LT 委員長 山口 直樹

11 月 29 日(土)午後 2 時から 5 時まで、ズーム形式で部長主任研修会を実施した。

キャビネットと現と次期の部長主任、32 名の参加で行った。参加対象者、ほぼ全員の参加であった。

昨年から部長主任研修会は、ワイズの今後に関して特に部の在り方を中心にこれからの在り方を模索する機会として行い始めた。昨年はワイズ特に部の改革の原案を模索し、今年は各部でそれぞれおかれた状況などによりかなり違っている現状とそこでの今後の方向を模索することを狙いとした。今回の研修会では理事と各主任の方針を聞き、部の活性化に向けた方向性を探ることを狙いとして、3 グループでのディスカッションの時間を持った。

それぞれのグループでは、かなり具体的な今後の方向の話ができ、いくつかのキーワードが出た。地域、ユース、社会的な問題への取り組み、横のつながりと部・クラブの枠を超えた交流、YMCA との関係、新しい出会いなどいま各クラブがいろいろなところで実践していることからの多くのヒントがもたらされた。そのことが会員増強につながっていくイメージも出来た感じである。また、区としての各事業への立体的な取り組みも今後のワイズ活動の推進に力を与えてくれている。最後に山下理事から、失敗を恐れずに挑戦することが重要との力強いコメントをいただいた。

今後の前向きな手ごたえを感じた参加者が多かったのではないだろうか。LT 委員会では来年 3 月 14 日・15 日の次期会長・部役員研修会(数少ないリアルで顔をあわせ、ともに考える機会である)に良い形でつないでいきたいと考えている。

なお、研修会で話された内容は、後日「部長主任研修会記録メモ」として各会長にお送りする予定。

今後の予定

12 月 1 日	あずさ部会長会	12 月 21 日	
12 月 5 日	東新部ワイワイクッキング	YMCA 中学生スピーチコンテスト (三島)	
12 月 9 日	かながわ部「鎌倉歴史散歩」	1 月 10 日	在山梨 4 クラブ新年例会
12 月 11 日	札幌チャリティーコンサート	1 月 10 日	在京ワイズ合同新年会
12 月 14 日	北東部第 2 回評議会		

入会者一覧

2025 年 8 月・9 月・10 月

入会日	部	クラブ	入会者	紹介者・他
2025/8/1	北東部	宇都宮東	山口 俊一	再入会
2025/8/26	富士山部	富士宮	稲葉 美津恵	山本 昭宏
2025/9/1	あずさ部	東京武蔵野多摩	田附 和久	(区担当主事)
2025/9/9	北東部	宇都宮	町井 千恵	大久保 知宏
2025/9/18	関東東部	東京江東	藤波 聖佳	小松 康広
2025/10/5	あずさ部	甲府やまなみ	和田 幸士	松本 公夫
2025/10/27	富士山部	熱海	山田 景照	渡邊 慎太郎

JEF 献金

2025 年 8 月・9 月・10 月

献金日	献金者	クラブ	金額	献金趣旨
8 月 19 日	清水 弘一	石巻広域	50,000	監事退任にワイズの発展を願って